

(政務活動費用)

(様式1)

出張報告書

平成 29年 11月 13日

釧路市議会議長 渡辺 慶藏 様

会派名 公明党議員団

代表者名 月田 光明



次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受命者	月田 光明 松橋 尚文 河合 初恵 秋田 慎一
出張先	1、四国中央市 2、東広島市 3、尾道市
期間	平成29年11月7日 ～ 平成29年11月10日 (4日間)
用務	1、四国中央市「商店街の空き店舗活用、多世代交流」 2、東広島市「住民自治体協議会の活動と地域センターの設置」 3、尾道市「水陸両用機の運用について」
調査(研修)結果等の概要	別紙にて報告
備考	


- 注) 1 資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書(原本)とともに会派で保管すること。
- 2 調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。




# 政 務 調 査 等 報 告 書

平成 29年11月13日

調査・研修・その他

釧路市議会公明党議員団

調査 日程 研修	平成 29年11月 7日(火) ~ 平成 29年11月 10日(金) まで		4日間	報告者	松橋 尚文 
参加者氏名	月田 光明	松橋 尚文	河合 初恵	秋田 慎一	
目的及び 会合名	1、四国中央市「商店街の空き店舗活用、多世代交流」 2、東広島市「住民自治協議会の活動と地域センターの設置」 3、尾道市「水陸両用機の運行について」				
場 所	1、四国中央市川之江栄町商店街振興組合 2、東広島市役所 3、尾道市(株)せとうちシープレン				
面談相手 (講師名)	1、川之江栄町商店街振興組合 理事長 高原 茂 氏 他 2、東広島市生活環境部次長 竹井 文昭 氏 他 3、(株)せとうちシープレン 取締役総務部長兼渉外部長 西内 龍太郎 氏				
活動及び 調査内容 要 旨	別紙にて報告				
	※添付資料	視察報告文書、面談相手名刺コピー、視察資料(写真含)、視察行程、			
経 費	旅費	0		人件費	0
	交通費	421,030		事務所費	0
	宿泊費	93,040		その他	2,700
	会場費	0		合 計	516,770
	講演等参加料	0			
備 考					

	月田 団長	松橋 幹事長	河合 会計	秋田 慎一
確 認 印				

訪問先: 四国中央市 川之江町商店街振興組合  
訪問日: 平成29年11月8日(水)10:00~12:00  
視察テーマ: 商店街による空き店舗活用と多世代交流について  
面談相手: 川之江町栄町商店街振興組合 理事長 高原 茂 氏  
四国中央市議会 議員 谷内 開 氏  
四国中央市議会事務局 係長 山内 政樹 氏

平成16年の市町村合併により、情報発信の場をということで、商店街の空き店舗を利用して四国中央ドットコムを設立。(高原氏が事務局)ここを拠点に川之江栄町商店街振興組合とNPO法人にっこりーのが協働し、一階のスペースでは商店街振興組合がコミュニティスペースを運営。ここではシニア向けのパソコン講座や、紙の街でもあることから、紙を使っての創作などのサークルやカフェなどを展開。二階スペースではにっこりーのが市からの委託事業で地域子育て支援拠点を展開し、0歳から就学前の子どもとその親が交流する場所となっている。

一階ではシニア世代が、二階では子育て世代がそれぞれに活動しているが、赤ちゃんからシニアまでの交流出来るスペースに発展し、さらにはレンタルボックスにおける物販や、新鮮魚介の委託販売などが加わり、買い物客も立ち寄り、まさに四国中央ドットコムがドットと混む！展開になったと高原氏談。

好評なレンタルボックスはお向かいの空き店舗に新店舗を展開。DANGOというお店で手作りのものが売られていた。にっこりーのに通う若いお母さんたちに好評で、商店街活性化にもつながっている。これまで使用してきた店舗内部をリフォームした時は、予算の都合もあり手作りで造作。この時は施設の職員ばかりではなく、利用者のシニアメンバーの男性がボランティアでお手伝いしてくれるなど、多世代のコミュニティが形成されている。

コンパクトな街づくりや立地適正化計画などでは、今後の街づくりは人口減少とともに生活範囲を絞りこむ方向だが、これまでの子育て支援は保育園等の施設で、高齢者支援は福祉施設でという考え方から、地域の素材を活用した支援のあり方も十分可能性として広がると考えられる。

川之江栄町商店街は新・がんばる商店街77選にも選ばれるほど活動が活発な商店街であり、繰り広げられるイベントの多さと、地域町内会等との連携もうまくできていた。



【事務所にて概要説明】



【四国中央ドットコム前にて】



【1階 高齢者のPC教室】



【2階 にっこりーの】



【レンタルBOXから独立した店舗】



【1階 委託販売スペース】

訪問先 : 東広島市役所

訪問日時: 平成29年11月9日(木) 10:00~11:30

視察テーマ: 住民自治協議会の活動と地域センターの設置について

面談者 : 生活環境部次長 竹井 文昭 氏

生活環境部地域づくり推進課長補佐 坪井 聖治 氏

同 係長 上野 智博 氏

議会事務局次長 弓場 潤 氏

議会事務局主事 溝部 淳紘 氏

平成22年2月に市民協働のまちづくりを進めるために指針を策定した。基本的な考え方として、1) 市民参加から市民協働、2) 新しい公共の拡大、3) 補完性の原則(自助・共助・公助)、4) 地域プラットフォームの構築、5) 協働にふさわしい分野の5つに分類されている。

市民協働のまちづくりを進める上で課題を整理すると、地域を総括する組織や活動に参加する機会の不足が浮き彫りになる。そこで行動計画における重点5事業として、1) 住民自治協議会の設立、2) 行政区制度から住民自治協議会への段階的移行、3) 拠点型まちづくりセンターの設置、4) 地域づくり推進交付金制度の構築、5) 地域活動型拠点の確保・機能の向上とした。

住民自治協議会は市内47の区域で平成22年から立ち上げを始め、範囲はおよそ小学校区でのまとまりになる。ここには自治会(町内会)、学校、福祉施設、NPO、企業、商店街、自主防災組織、社協、消防団などあらゆるコミュニティが参加し、地域性に応じて防災部会、福祉部会、生涯学習部会などの部会を設置し活動している。自治会加入率は約7割とのことで市民のまちづくり参加への意識も高めである。

その活動拠点として47の地域センターを設置し、自治協が指定管理者として専任の職員を配置し運営している。

これまで各団体がバラバラに行なってきたまちづくりに関する活動が一本化され、予算も同様一本化されている

主な活動内容では、広報の配布や回覧、防犯灯設置、空家調査、市の各種事業行事への参加(自治体部会)、文化祭開催、祭り開催(文化部会)、スポーツ大会開催や参加(体育振興部会)、夜の見守り、地域安全マップ作成、子どもの安全見守り、防犯機関紙発行(防犯部会)、料理教室、将棋教室、盆踊り練習、絵手紙教室など(青少年育成部会)、自治協や地域の活動を紹介する広報誌発行(広報部)となっている。

この住民自治協議会が発足されてからは、より市民のまちづくりへの意識が向上したのか、地区において活発に活動が展開され、自主防災組織未結成地域に飛躍的に設立されていくなど、市民協働において行政と市民の重なりがより広がりをみせるなどの効果も多い。



【東広島市役所にてお話を伺う】

訪問先:尾道市 (株)せとうちシープレーン

訪問日時:平成29年11月9日(木)14:30~16:00

視察テーマ:水面着陸出来る飛行機による遊覧飛行について

面談者:取締役総務部長 西内 龍太郎 氏

(株)せとうちシープレーンは(株)せとうちホールディングスのグループ会社であり、尾道市にあるオノミチフローティングポートを拠点にし、水陸両用機(飛行機)を使用し遊覧飛行やチャーター便の運航を行っている会社である。他のグループ会社では、航空機の製造販売や、旅行代理店、旅客船によるクルーズ事業、建設、繊維などの事業を展開されている。日本国内へのインバウンドにおける裕福層の移動ストレス解消で更なる観光客増への一考察として訪問しお話を伺った。

考えられる事例として、新千歳空港などの国際便が就航する道内空港から、直接阿寒湖へチャーター便を飛ばすことや、他の国内空港から釧路空港へチャーター便を利用する事も考えられる。合わせて、道東の国立公園や世界遺産などを上空から遊覧するという観光形態も今後考えられる。

実際に運行されている棧橋、整備場、駐機場と合わせて機体を拝見させていただいた。機体はコックピットに2人、後部の客室に6人(座席数10まで可能)で後は人数分の荷物が掲載可能であった。水上では約530mの滑走で離水が可能であり、特殊な環境にも対応可能な機体となっている。

丁度遊覧飛行が開始される時間に伺ったため、離着陸の状況も見ることが出来た。



↑【事務所にてお話を伺う】 ↓【実機体の説明を受ける】



↑【滑走状況】 ↓【搭乗棧橋】

